



よしだ 議会だより



吉田公園 チューリップまつり

第93号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成31年4月発行
責任者 議長 八木 栄

平成31年第1回定例会	2P
一般質問 3人が町政を問う	8P
委員会報告	11P
30年度 議会目標に対する自己評価	14P
まちの話題	15P

〔新規事業〕

小・中学校への体育館空調設備設置 など

平成31年度一般会計歳入歳出予算総額 107億8,300万円

主な歳出項目 ◎新規事業 ○拡充事業 ・継続事業

躍進その1 教育環境の充実

◎小中学校体育館への空調設備設置	2億5,642万円
○幼稚園就園奨励費の拡充	4,894万円
○教員補助員の増員配置	3,402万円

躍進その2 新たな安全と賑わいの創出

◎防潮堤整備に係る関連工事	7,140万円
・企業活動維持支援事業区域基盤整備	6,635万円
・同報無線デジタル化整備	5,204万円
◎総合体育館への空調設備設置詳細設計	731万円
◎町内施設におけるWi-Fi環境の整備	600万円
◎町内生活交通における新体系構築策定業務委託	440万円

躍進その3 子育て支援の拡充

○放課後児童クラブの運営拡充	7,163万円
・若年者住宅取得応援補助	2,340万円

躍進その4 健康づくりの推進

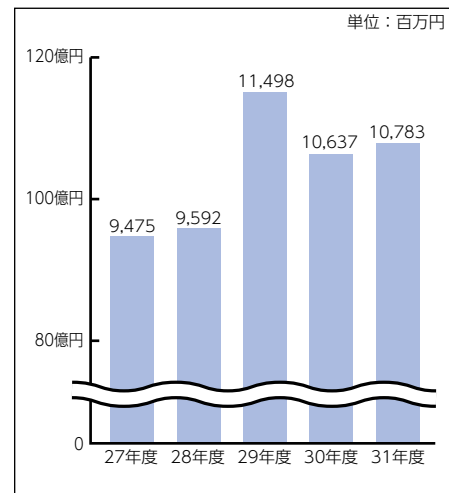
◎風しん予防対策（男性向け）	225万円
----------------	-------

3月1日から18日までの会期で第1回定例会を開催し、条例の改正4件、一般会計および特別会計補正予算4件、31年度当初予算7件、規約の変更1件、町道の路線認定1件、人事案件2件計19議案を審議し、可決・同意した。
また、委員会発議による条例の改正1件を可決した。

ふるさとよしだ寄付金基金の 充当先（総合計画の7つの柱）

災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	8,241万円
誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	1,136万円
活力あふれる産業振興まちづくり	712万円
魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	99万円
次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	969万円
豊かな自然と共生するまちづくり	283万円
行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	37万円

5カ年の推移



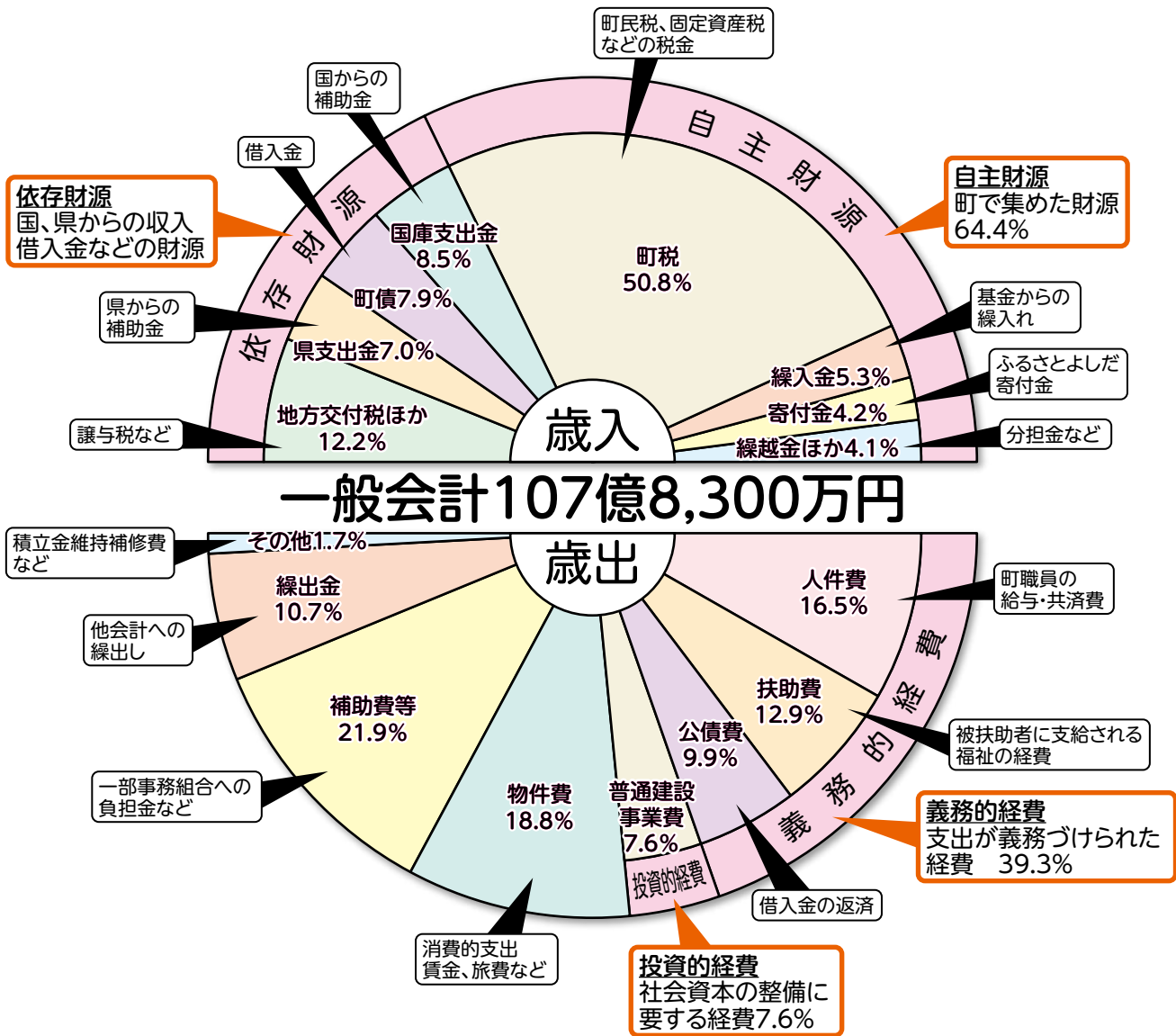
一般会計当初予算の推移



31年度予算 前年度比1.3%増

昨年との比較

	31年度	30年度	増減額
地方交付税	4億円	3億6,700万円	3,300万円
町債(借入金)	8億5,180万円	8億5,150万円	30万円



昨年との比較

	31年度	30年度	増減額
人件費	17億7,495万円	17億0,576万円	6,918万円
補助費等	23億6,218万円	21億1,242万円	2億4,977万円

一般会計予算審議

歳入

問 都市計画税は目的税であり、その用途による恩恵は、納税者が公平に受けるべきと考える。下水道事業はどうか。

答 公共下水道事業は都市計画事業であるため、都市計画税も財源として充てている。

事業進捗の都合、現時点では受益できていない方もいるが、計画区域はほぼ全域としている。

問 補正後の30年度ふるさとよしだ寄付金は、2億7000万円に減額となったが、31年度予算は4億5千万円を計上している。新しい取り組みはあるのか。

答 31年度から取り扱った業者を2社増やす。吉田町の良さを発信し、音楽イベント

トとコラボして、チケットを返礼品に入れるなどアイデアを出していきたい。

歳出

問 返礼品競争に巻き込まれないか。ふるさと納税に対する町の考え方は

答 地場産品をどう全国にアピールできるかを重視している。お金を得ることを目

的とする自治体もあるが、それに乗って品格を失うような自治体運営はしたくない。

問 まちづくり公社の役割をどう考えるか。

答 シーガーデンシティ構想の担い手として参加している。民間活力、民間的発想を期待したい。



津波防潮堤工事が進む川尻地区



デジタル化が進む防災同報無線

問 吉田沙保里さんを町の応援大使としてお願いしたが予算に入っているのか。

答 まだ、どういう形でお願いくるか打ち合わせしていく段階だが、町政施行70周年事業費は、その辺りを踏まえて計上している。

を対象としているため、それぞれ計上した。

問 児童虐待防止事業の相談員が見つからない。ハードルが高いのではないのか。

答 再任用職員を昨年配置した。資格を持っていて人を募集していきたいが、臨時職員の採用については町全体で考えていきたい。

法と考えている。飼主の責任も明確となっている。県の指針でも飼い方を指導している。愛護教室や飼い方をPRしている。

問 風しん予防費（男性・30〜50歳）の対象者は3650人いるが、どう進めるのか。

答 31年度からの3年間で、国の対策に沿って進める。ガイドラインが示されているが、調査も必要と考える。働く世代であり、医師会など関係機関と打ち合わせし、抗体検査の体制を作る。

対象者にはガイドラインを配布し、クーポン券も発行する。リーフレット、ポスターなどを作り広報・HPでもPRしていく。

問 心身障害者福祉費の中にある成年後見人等報酬助成金が介護保険事業特別会計にも計上されているが、どう違うのか。

答 実施要綱があり、知的・精神障害者と高齢者が対象となっている。一般会計では知的・精神障害者、特別会計では高齢者

答 去勢・避妊手術はもっとも効果的な方

問 展望台小山城売店の清掃管理手数料が委託費に変わったがなぜか。

答 これまで、展望台小山城売店西側のトイレと漁協荷さばき所トイレの清掃は臨時職員がやっていたが、減員となったので業務委託した。

問 小山城設計委託料の目的は。

答 展望台小山城は築30年経過したので劣化診断をする。

問 展望台小山城売店でコーヒーなどを飲み、ゆっくりできる場所をつくれぬか。

答 観光の拠点でもあり、売店の営業についても考えていく。

問 湯日川のラバーダムが故障と聞か。

答 片岡橋下流の施設が故障したが、手動なら動く。10%の補助があるので修繕する。



橋梁の完成が近い企業活動維持支援地区（川尻・高島地区）

問 山崎橋下流のラバーダムにより神戸川が氾濫することがある。どう管理するのか。

答 ダムは大雨が出た場合は倒れ、水が流れるようになっていく。しゅんせつも行ってはいる。竹林の倒壊は伐採している。

問 富士見土地地区画整理地区内の津波避難

問 タワー用地を町が買収し、保留地を公園用地とする計画であるが、組合員には説明しているか。

答 31年度予算に計上しており、公園用地は組合と話し合っていく。

問 北オアシスパークは防災公園の役割を持っているが、ベンチかまどやマンホール

トイレを防災訓練時に有効に活用できないか。

答 防災公園の役割は、大規模災害時の受け入れ施設である。防災ツールの使用の方は公社にもお願いしている。周知していきたい。

問 町内で火事があり付近の消火栓からホースを引いたが短くて使えなかった。

答 消火栓の配置は用途地域別に決まっております。120mをカバーできるようにホース20m3本が入っている。消火栓の位置は自主防災会にも伝える。

問 新設となる学校用務員は一人で4校を回るのか。

答 学校からの要請が多く、一日ごとに各校を回って軽度の修理や草刈りなどの業務を行う。

問 中学校部活指導員は30年度3人であった。31年度は何人を見込んでいるのか。

答 教職員の多忙化解消につながるのか。4人分を見込んでいる。4人で多忙化が全て解消されるとは考えていないが、校務の分散が図れるなど全体として多忙化解消の傾向になると期待している。

全会一致で可決



完成した放課後児童クラブ（学習ホール東）

平成30年度一般会計補正予算(第4号)

歳入・歳出それぞれ4億6,995万円を減額し、それぞれ105億3,401万円となる。

【主な歳出項目】

・心身障害者自立支援事業費	2,760万円
・経営体育成支援事業費	1,025万円
・臨時福祉給付事業費	928万円
・妊娠出産包括支援事業費	71万円

【繰越明許となる主な事業】

・漁港環境整備事業費	1,800万円
・農業振興事業費	1,025万円
・大幡川改修事業費	700万円
・シーガーデン推進事業費	172万円

一般会計補正予算の質疑

30年度特別会計補正予算

条例の一部改正

問 シーガーデンシティ推進事業費で一つの事業、ジオラマ作成の調査委託料が700万円減額となっているが。

吉田町国民健康保険事業特別会計補正予算補正額1767万円
歳入歳出予算総額
29億9882万円

吉田町公共下水道事業特別会計補正予算補正額△3545万円
歳入歳出予算総額
11億6564万円

吉田町災害弔慰金の支給等に関する条例

答 委託先が静岡文化芸術大学となったことから当初の予定より安価に契約することができたためである。

吉田町介護保険事業特別会計補正予算補正額△2372万円
歳入歳出予算総額
19億3190万円

吉田町土地取得事業特別会計補正予算補正額1502万円
歳入歳出予算総額
1502万円

問 災害の援護資金の利息が無利子となったが。連帯保証人をつける理由は。
答 確実な債務回収を行なうため連帯保証人をつけた。

問 経営体育成支援事業について、3経営体の申請があった。

吉田町土地取得事業特別会計補正予算補正額1502万円
歳入歳出予算総額
1502万円

吉田町放課後児童クラブ室設置条例

吉田町老人デイサービスセンター設置条例

それ以外の被害申請はなかったか。

答 台風24号における被害が対象でビニールハウスなど農業用施設35棟が被害を受けた。

その結果12経営体から要望があったが採択要件などから、3経営体のビニールハウス15棟が対象となった。



修理が終わったハウス



トマトの育苗

全会一致で可決

全会一致で可決

吉田町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

平成31年度特別会計予算64億6,317万円 30年度より2億5,830万円と大幅な増額となる

特別会計予算審議

特別会計（内訳）			単位：万円
事業名	本年度予算額	前年度予算額	差引増額
土地取得	1,502	2,047	△545
国民健康保険	293,395	280,097	13,297
後期高齢者医療	26,958	26,571	387
介護保険	198,868	191,589	7,279
公共下水道	125,592	120,181	5,411
合計	646,317	620,487	25,830

水道事業会計			単位：万円
区分	収入	支出	差引増額
収益的収支	59,651	54,017	5,634
資本的収支	12,928	41,449	△28,521

国民健康保険事業 特別会計

問 保険税の算定方法について見直しは。

答 資産割をなくした場合について検討をしたが、県への納付金額、税収の減少などを鑑み、税率改正は時期尚早と判断し、据え置くこととした。

反対討論 大石 巖

保険税の負担率が高いが30年度、31年度と据え置きとなっている。早急に保険税の算定方式や料金の見直しを求める。資産割、均等割をなくし平等割に負担を掛けず、所得割方式に改めるべきである。

賛成討論 増田剛士

県の示す標準保険税率等を参考に、保険料算定方式、予定税率に基づき保険税を定めている。低所得者に対する軽減

税率も行なわれている。持続可能な社会保障制度の確立を図るためにも妥当な予算である。

賛成多数で可決

町道の路線認定

問 今回の路線はまだ舗装が済んでいないが、本定例会で認定を行う理由は。

答 31年度に整備し、管理していく路線であるため。



川尻浜河原8号線

・後期高齢者医療事業
特別会計

・介護保険事業
特別会計

・公共下水道
特別会計

・水道事業会計
質疑なし

・人事案件

人事案件

吉田町監査委員の選任

吉田町川尻3793番地の1

藁科武夫氏

吉田町教育委員会
教育長の任命

吉田町片岡1678番地の1,2

栗林芳樹氏

反対討論 大石 巖

栗林氏は文部科学省で教育課程、新しい学習指導要領などを検討する部署を担

当されてきた方で、教育の中立性、不偏不党の理念を求めるところにあり徹することができないのではないかと。

賛成討論 増田剛士
学校教育課長当時から新学習指導要領に関する取り組みに関わっている。TCPトリビンスプランにおいても柔軟な対応をしている方であり、教育行政にも精通している。何ら問題がない。

賛成多数で可決

委員会発議

吉田町議会委員会条例の一部を改正

question

問

行政に町民の声が反映されているか

answer

答

より多くの意見・情報を求める

行政運営には効率的で質の高い仕組みと環境が必要である。「吉田町行政改革大綱」の推進項目について質問した。また、個人情報保護は法律で明文化されており、憲法の基本的人権の観点からも慎重な取り扱いが求められる。



大石 巖 議員

吉田町個人情報保護条例にのっとり、町から紙媒体やデータなどで個人情報の提供は行っていない。ただし、住民基本台帳の写しの閲覧請求がされた場合は閲覧に応じている。名簿の活用は難しいという状況ではない。

問 PDCAの評価システムは担当者の見

方だけでなく、第三者の見地からのチェックが必要ではないか。

答 PDCAの仕組みは自治会の協力や受益者への説明会は大

事である。今年度の護岸高上げ工事についても説明会を行っている。

問 「明るく活気に満ちた職場づくりの推進」としているが、

職員の年次有給休暇の取得状況はどうか。

答 平成30年の取得日数は平均で年7・6日、消化率19・8%である。

問 町民の葬儀・告別

式の場合で国会議員などからの弔電が披露されるが町からの情報提供はあるのか。

答 情報提供はしていない。

問 災害時の避難困難

者の名簿活用が難しいとの声がある。

答 安否確認や見守り活動の体制整備をし

問 町民の声を聞く、

例えば稲荷川の護岸高上げ工事について、直接地元町内会



稲荷川護岸工事

PDCAサイクルとは

P・D・C・A、4枚のシートを活用し、行政評価を行うシステム。

- P: plan (計画)
- D: do (実行)
- C: check (評価)
- A: action (改善)

町政を問う

question

問

「躍進」の事業展開は

answer

答

豊かで勢いのある魅力的な町づくり

31年度さらなる「躍進」をキーワードとしその実現を図るところであるが、特にシーガーデンシティ構想の具現化や教育環境の充実としてその取り組みを問う。

問 東名吉田インター

チェンジ、シーガーデンなどを結ぶ人の流れは。

答 町の玄関口であるインターチェンジ付近をターミナル化し町内各施設を都市計画道路で結び、これらを町全体に巡らせる「面」として来訪者の「新たな人の流れ」を創る「起点」として位置づける。

問 幼児教育の実践や

スタートカリキュラムの取り組みは。

答 幼児教育カリキュラムを小学校へ引き

継ぐことができるよう、低学年の教育課程において合科的、関連的な指導を取り入れるよう工夫、スタートカリキュラムの試案を公開保育、授業で成果と課題を明確にした。

問 授業日数の平準化

は。

答 30年度小学校212、213日、中学校209日、教員は教材研究や子供と向き合う時間が増えた。

問

中一ギャップを克服する進め方は。

答 大学教授を座長に小中学校の教員や保護者や自治会代表で「小中学校のつながりのある教育検討委員会」で目指す子ども像を「吉田の精神を受け継ぎ、未来を切り拓くことのできる子ども」と設定し、総合的な時間を核とし、吉田町の過去、現在、未来を探索し、つなげていく。

問

住吉小学校の「未来の学校『夢』プロジェクト」の波及は。

答 校務の整理と教職員意識改革、人的配置の効果的活用を

柱に他の学校は取り組みを範として働き方改革を進める。時間外勤務時間の月平均が3.8から8.1時間縮減された。



遠藤 孝子 議員



住吉小学校に導入されたタイムカード

question

問

生活交通新体系構築策定業務委託とは

answer

答

公共交通システムの構築に向けた調査

超高齢社会を迎える2025年問題、高齢化による運転免許証の返納、運動能力の低下や認知症などによる運転操作ミスの交通事故多発、病院への通院や買物など、生活交通弱者のための移動手段を質問した。

問 当町の現状に即した公共交通システムとは。

答 ささまざまな事業主体が運営する公共交通と行政の支援などを複合的に組み合わせ、利用者、事業者、行政それぞれが利益を共有できるシステムである。

問 新体系構築作成業務の内容は。

答 下記表に示す。

新体系構築作成業務の内容

- ・ アンケート調査やヒアリングによる現状把握
- ・ システムのメリット、デメリットの整理
- ・ 地理的条件や人口規模、財政規模など、類似自治体の導入事例の収集および把握
- ・ 利用者の利便性や業者への影響、整合性などの調査
- ・ 利用者のニーズとサービス水準の整合性

問 公共交通システムの目的は。

答 利用者、事業者、行政にとって最適な仕組みづくりを行う。

問 最適な仕組みづくりを行うための手段は。

答 既存バス路線の維持と有効活用を基本として、移動支援との組み合わせを図っていく。

問 実際に移動手段に困っている人たちの意見をどのように取るのか。

り上げるのか。

答 アンケート調査やヒアリングを行い、ニーズをあらゆる角度から調査していく。バスだけでなく、福祉サイドを含めた調査をしていく。

問 調査から運営までのスケジュールは。

答 1年かけて成果を出し、公共交通会議にかけていく計画である。この先は時間をかけてやっていく。



藤枝市の公共交通システム（自主運行バス）



山内 均 議員

総務文教常任委員会調査報告

調査事項 「生活交通の確保について」

調査の目的

地域の生活交通及び公共交通の確保・維持、利便性の向上について調査・研究する。

調査方法

高齢化に伴う自動車運転免許証の返納や免許証を持たない方たちにとつての移動手段の確保について、近隣の市町や先進地を取り組まれているコミュニティバスやデマンドタクシー（乗合タクシー）などの事例を参考にして調査を行った。

調査期間

平成30年1月23日
平成31年2月13日

視察調査・報告のまとめ

藤枝市

平成30年8月16日



自主運行バスやデマンドタクシーは、民間事業者の運行する路線バスが収支の悪化などにより撤退したものを補うために設けた。自主運行バスの利用者は最近では減少傾向にあるが、デマンドタクシーの利用者数は着実に増加している。

松阪市

平成30年11月5日



地域の協力と負担を前提としたコミュニティバスの運行が行われている。地域からの要望に基づいた「行政主導型」の整備ではなく、地域の立候補による「参画型」としている。特筆すべきは、沿線の事業者、商店、個人などには協賛金の協力依頼を行っていた。

西尾市

平成30年11月6日



コミュニティバスは公共交通空白地の解消と市街部の巡回路線の整備を背景に導入。デマンド型乗合タクシーは交通空白地の解消、交通弱者のための交通機関、利用者の移動の利便を考慮し、既存交通機関との連携や民間ビジネスとしての工夫を背景に導入した。

総評

高齢化による自動車運転免許証の返納に伴う交通手段や交通弱者のための生活交通の確保は、調査した地域で取り組みが行われていることが確認できた。

吉田町では、交通網の整備と共に生活交通に大きな変化が起きている。

地域のことは地域で決める、三重県松阪市や愛知県西尾市の事例などを考慮した地域参画型の交通システムが構築されることを期待している。

委員長 山内 均

産業建設常任委員会調査報告

調査事項「道路・河川及び都市公園の管理及び整備について」

豪雨時の道路冠水や劣化した道路の補修、河川の改修や管理について、
町民から行政に対する要望を調査、研究する。

31年2月7日に開催した委員会で、上記の調査事項について、当局から資料提供、現地調査や先進地への視察調査などの経過をまとめ、調査報告書を議会議長に提出した。これまでの調査経過については、中間報告として議会だよりで随時報告しているので、今回は「まとめ」について報告する。

1年6カ月の調査・研究による課題を整理する。

議会報告会で要望が多く出された道路や河川、都市公園については、管理者である吉田町が常に良好な状態で管理及び整備を行うこととされている。

地元からの改善などの要望事項については当局も状況を把握しており、第5次吉田町総合計画や実施計画において具体的な予算計上に努めていることは確認できたが、予算の確保や補助金制度の活用などより一層の努力で町民の要望に応える必要があると判断した。

1 計画的な道路改修・草刈りなどの地元要望について、予算措置を講じるとともに、要望に応える必要があると判断する。

2 児童・生徒の通学路に当たる歩道の整備は、交通安全の観点からも優先的実施が求められる。



内水氾濫の稲荷川

3 近年、集中豪雨の発生が頻発していることを踏まえ、計画的に治水対策を講じる必要がある、2級河川・湯日川においては、計画的に治水対策が講じられるように、関係機関とより一層の調整を図ることが重要であると考える。

併せて、中小河川流域における水量調節機能を有する調整池や浸透枳設置など、町民の協力のもと官民一体の治水対策が有効であると判断した。

4 都市公園については、現地調査時に草が繁茂し、遊具やベンチなど町民が利用しにくい状況が散見されたが、その後の整備により一定の改善はされている。常に町民が気持ちよく利用できる公園管理に一層の努力を願いたい。

また、能満寺山公園は町の中心的位置にあり、利用しやすい駐車場整備など早急に具体化を図るべきであると判断した。

5 第5次吉田町総合計画の将来都市像



整備が急がれる能満寺山公園

「人が集い、未来へはばたく魅力あふれるまち吉田町」に向けて、町民が安全・安心に暮らせる環境整備を重点施策として推進することが必要であると判断した。

委員長 大石 巖

吉田町教育改革調査特別委員会調査報告

調査事項

「TCP トリビンスプランに関する調査・研究について」



31年2月19日に開催した委員会で、上記の調査事項について、当局からの提供資料および委員会の資料収集をもとに調査・研究を進め、調査の経過をまとめたので、調査報告書を議会議長に提出した。調査のまとめについて報告する。

調査のまとめ

1 平成32年度の新学期指導要領の実施時期に向けては、教職員・保護者・町民の皆さんが協力して、これからの社会の担い手となる子どもたちに必要な教育の在り方を具現化することが求められている。

2 中央教育審議会の

「学校における働き方改革特別部会」は、教員の業務量の削減や振り分けなどを柱とする「中間まとめ」を決定した。しかし、現実には教員の超過勤務を前提とした業務実態では「授業日の平準化」だけでは解決しない。根本的には、教員不足の解消と小人数学級による「子どもの顔が見える」教育の推進にあると判断する。

4 授業日数、年「基本

220日」の議論、長期休業期間の設定は課題があり、町は、町民の皆さんに対して十分な説明を行い、

3 教職員からの意見聴取で出された改善策を具体化し、意識の共有を図ることはプランを進めるための前提条件として重要である。



理解を得た中で施策を押し進めるよう一層配慮されたい。

吉田町立吉田中学校



委員長 大石 巖

5 当委員会の調査・研究は、道半ばであり不十分ではあるが、これまでの議論を通じ、問題点や疑問点については集約されてきたのではないかと判断する。教育改革については、町議会として重要な課題であると認識するので、町は、引き続き情報提供に努められたい。

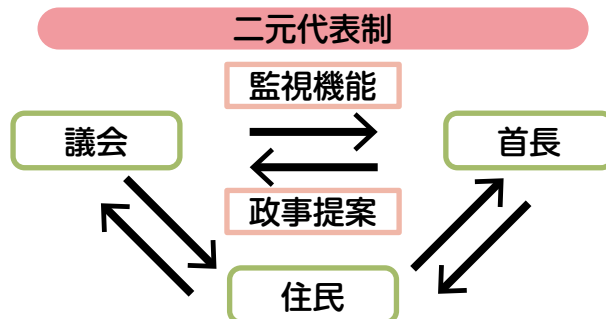
議会目標に対する 議会の自己評価の結果

目標	取組内容	評価	評価理由
議員の責務を果たす	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町議会基本条例に基づき行動する。 議会改革推進会議において、吉田町議会基本条例を再確認する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 議会基本条例に基づき、議会活動を通し地域の意見や問題に取り組み、町民の福祉向上を目指す活動ができた。 議会基本条例の確認に関しては、さらなる協議が必要である。
活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 情報や論点を共有化し、議論する。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 情報や論点の共有化が足りず、議論が深まらなかった。
情報の発信を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して情報発信を行う。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 議会フェイスブック、サイボウズライブの導入による議会内外の情報発信は行えたが、議会中継、インターネット配信の議論が深まらなかった。
住民の意見を反映する	<ul style="list-style-type: none"> 議会報告会や出前会議で、住民の意見を聴取し、議会活動に生かす。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 議会報告会での要望や意見を、委員会活動や議会活動に生かすことができた。 なお、出前会議の要請はなかった。

評価基準は『設定以上にできた⇒○、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』



講師 高沖 秀宣氏



平成31年2月1日午後1時30分から役場4階第2会議室にて(社)日本経営協会の高沖秀宣氏を講師に迎え、『議会における質問力向上』について議員研修を行いました。

吉田町議会議員研修会報告

【講義内容】

- 議会における「質問のありかた」と目的
 - 質問の「種」の抽出・発見方法
 - 質問の「全体構成」を考える
 - 質問の「組み立て方」
 - 失敗する要因
 - 「質問」と「質疑」の違い
 - 一般質問のポイント
 - 議案質疑のポイント
 - 「議員の質問」から「議会の質問」へ
- タイトル
 - 動機・原因
 - 問題設定
 - 獲得目標
 - その問題をどのように解決したいのか
 - 状況の説明
 - 獲得目標にむけて、根拠となる立論・解決方法
 - 質問項目
- 4 質問の「組み立て方」については「一般質問の組み立て方」のフォーマットを見ながら説明を受けた。



研修中の議員

吉田町スポーツ少年団紹介

住吉野球スポーツ少年団

コーチ 2人
団員 17人



監督 柴 一成

昭和56年結成し、38年経ちました。
先輩たちが築いてきた伝統ある、住吉野球スポーツ少年団です。
練習の時間にお伺いし、大きな声で「こんにちは」の挨拶に、とってまたくましく感じました。

5年前に監督を引き受けました。私の子どもたちが、12年前に住吉野球スポーツ少年団に入部したことから、コーチに就任したことがきっかけです。

教えているうちに熱くなってしまつこともあり、反省する時もありますが、住吉野球の目標である、「一致団結して全員、全力プレーをする」を合言葉に、チーム一丸となって取り組んでいきます。

住吉野球スポーツ少年団員たちには、まずは技術よりも体力をつけることが大事なので、しっかりとご飯を食べてもらい、体力をつけてほしいと思います。

また、野球を好きになつてもらい、卒団後も野球を続けてくれたら嬉しいです。
保護者の方からは、「スポーツ少年団に入る

ことにより挨拶ができるようになった。」「精神面が強くなり、人との接し方が学べるのが嬉しい。」などのお声をいただき、とてもやりがいを感じています。

月曜日以外16時から18時まで練習しています。
是非見学に来て下さい。



第16回JA共済トーナメント静岡県少年軟式野球大会

住みよいまちづくりのため 議員、担当者の奮闘に感謝！

定例会を傍聴いただきありがとうございました。
平成30年中に頂いたアンケートのなかから、お寄せいただいたご意見・感想を紹介します。

第1回定例会（3月・26人）

主に平成30年度の予算を審議する議会でした。
・回答内容の要点をA4版1枚にまとめ、事前配布願いたい。

・後半の質疑はよかったが、前半は言いまわしもいてねいすぎてもっと簡潔に話しても良いのではないかと感じました。

第2回定例会（6月・33人）

小中学校のトイレ改修工事請負契約などの議案を審議する議会でした。
・行政に対する町の総合計画の健康づくり、安心で住み良い町づくりに対する細かい内容、意見交換がなされており、地域の代表者としておられた議員さんたちの活動がわかり、大変有効な場を体験させていただきました。今後の活躍を願います。

・一問一答が速やかにわかりやすく進行するように。傍聴者は何を言っているのか内容がつかめなかった。

第3回定例会（9月・40人）

主に平成29年度決算について審議する議会でした。

・午前の傍聴のみでしたが、町民の健康について真剣に討議された議員と町の姿勢にありがとうと言いたい。

・添付資料があったので、有効な活用ができて、内容把握に役立った。

第4回定例会（12月・40人）

平成30年度補正予算などを審議する議会でした。
・議会をネットライブ中継してほしい。

他にも多くのご意見・感想を頂きました。
ありがとうございました。



町議会議場

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。

こちらからどうぞ

<https://www.facebook.com/yoshidachougikaiict>

動画や写真のスライドショーなど、議会活動の様子をご覧ください、
ご意見をお寄せください。



(QRコード)

選挙にいこう!!

4月21日(日) 投票日



町長・町議会議員選挙

期日前投票：4月17日(水)～4月20日(土)

時 間：8時30分～20時00分

場 所：・期日前→中央公民館 ・投票日→指定された投票所

まちの話題



吉田漁港 しらす漁



能満寺山公園 お花見茶会

あとかぎ

小山城の桜、吉田公園のチューリップなど、吉田町の春はいかがでしたか。

議会広報特別委員会で、議会だよりを4年間17回発行し、定例会本会議の議案審議を中心に、編集会議を重ね、より親しまれる誌面づくりを目指しました。

6名の広報特別委員は今回で最後の編集となります。

これからも、よしだ議会だよりをご愛読ください。

(M・M)

議会広報特別委員会

委員長 三輪美由紀

副委員長 山口 一博

委員 蔭田 昌代

大石 巖

三輪 正邦

河原崎昇司